

## 「いろり座」のみなさんが来荘

歌や踊り等を披露して下さっています。ご利用者も、舞台上に参加。



## お花見と外気浴



3月後半より、日中の肌寒さも落ち着き、ようやく、外の空気と日差しを浴びに出かけられる様になりました。

中心荘の外での活動は、「散歩」「体操」「花壇のお世話」「畑仕事」「庭や玄関周りの掃除」「お花見」「ランチ」「お茶会」「ちょっとしたピクニック」などなど。

ボランティアさんのお力もあり、今年も桜の木の下で、「ランチ」を行うことが出来ました。みなさん、食べ終わった後も、周囲の景色を観たり、余韻をゆったりと楽しまれていました。



認  
知  
症

デイサービス新聞  
第13号



平成26年6月1日発行(季刊)  
中心荘第一・第二老人ホーム  
地域密着型認知症対応型通所介護  
☎ 046(231)7152



## ある日の出来事(ご利用者の声)



春の日差しを浴びながら、ご利用者の方から、「あまり真っ黒焦げはねっ…。どうも日焼けが気になるご様子で、笑みを見せていらっしゃいました。いくつになっても女性!その言葉を聞き、思わず“ステキ”そんな風に思っていました。



## 中心荘恒例の調理とお裾分け



「お味噌汁」を作る場面では、キャベツの芯と包丁を自ら手にして、「薄く切れば、柔らかく食べられるのよ」と、食材を無駄にせず、切って下さっていました。

「野菜のお浸し」を作る場面では、お仲間同士切る大きさについて相談をされていました。一人の方は、周囲にいる人数を確認し、「これくらいに切れば、みんなに行き届くわよね」と、お仲間への気配りをされ、調理をして下さっていました。

ちなみに・・・写真に写っている箸入れは、私たち(ご利用者)が作りました。ご利用者主体となり、鯉のぼりの箸入れを作り、お裾分けに行く際に、使ってみました。ちゃんと目もウロコもあるんです。ステキでしょ。(是非、みなさんにも使ってもらおうと、4月は、箸入れを沢山作りました。)



## 鉛筆削り



お仲間が使っている、鉛筆が丸くなっている。すると、「削るわよ」機械を使わずに、丁寧に何本も削って下さっていました。

きっと、私たちの方が、やり慣れないばかりに、危ない手つきになってしまうかもしれません。



### ご利用者の過ごし方・活動 (ご利用者の声)

皆さんは、「中心荘」にはピンとこなくても、朝の車に乗って見ると、どうも私のお仲間に会えるみたい・・・。

そんな風に、感じてくださっている様子です。

そして、時にはお客様気分ではなく、みんな仲間。だからこそ、「自分たちでもやれることは、やらせてください。」なんて言葉も聞かれるくらい。互いに助けあって過ごされています。

**中心荘への見学、いつでもお待ちしております。是非、見て確認をしてみてください。**

- 既に、他の通所サービスを利用しているが、中心荘ってどんなところなのか知りたい(ケアマネージャーから名前は聞いたことはあるけれど・・・)。
- 認知症症状のある方をみていて、家を離れることが出来ない。
  - ① ご本人様はフロアで介護職員が対応しますので、心置きなく、ご本人様とは別室にてご相談を承ることができます。
  - ② ご本人様が、フロアで過ごされている様子も、ご覧になることができます。
- 中心荘の認知症デイサービスは、症状の重度・軽度を問いません。

中心荘第一・第二老人ホーム  
地域密着型認知症対応型通所介護

〒243-0431 海老名市上今泉4-7-1

電話 **046-231-7152**

E-mail: chusinsou1@chusinkai.jp

http://www.chusinsou.net/

担当生活相談員 **高橋**